

授 業 目 名	成人聴覚障害実習I(聴力検査含む)	授 業 形 態	演習・実習
		配 当 学 期	2年(前期)
担 当 教 員 名	足立 健太	単 位 数	1単位
		時 間 数	30時間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>[授業概要]</p> <p>1年で学習した聴覚検査の内容をもとに実習を深めるとともに、純音聴力検査以外の検査についても学ぶ</p> <p>[到達目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・純音聴力検査、語音聴力検査をマスキングを利用して実施できる。 ・閾値上の検査について実施できる。 ・国家試験レベルの問題の傾向と対策を知る 		
授 業 回 数	授業の内容		
第 1 回	外耳道閉鎖効果と純音聴力検査		
第 2 回	純音聴力検査とマスキング法		
第 3 回	演習		
第 4 回	演習		
第 5 回	語音聴力検査とマスキング		
第 6 回	演習		
第 7 回	演習		
第 8 回	閾値上検査		
第 9 回	演習		
第 10 回	演習		
第 11 回	演習		
第 12 回	国家試験対策		
第 13 回	国家試験対策		
第 14 回	国家試験対策		
第 15 回	まとめ		
評 価 方 法	筆記試験で評価します(100%)		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 聴覚検査の実際(改訂4版) 南山堂 2009		
履 修 上 の 留 意 点	相互被検者で実施します。検査者と被検査者とが固定化しないように留意ください。		
メ ッ セ ー ジ	語音聴力検査も習熟が必要です。補聴機器の要否や訓練を考える場合、気導、骨導値の確定と語音聴力検査は「セット」と考えておく必要があります。そのため、検査時間は30～40分が限度だと思います。練習していきましょう。		